

第44期 1stQ GL 会議スピーチ

2016年4月22日

『中間管理職とは』

44期がはじまりました。さて、今回のお話しは「中間管理職」についてです。初めに中間管理職であるグループリーダーの皆さんが考えるリーダーに必要な素養とはなんでしょうか

S 遠慮の無さ

K 決断力

M 牽引力

I 説明能力 面倒見の良さ

K 判断力

こんなリーダーは願い下げというのはどんなんでしょう

F 自分本位 自己中心的

M 全体に対して客観性が無い人 情熱的でない人

T 話を聞いてくれない人 自分の意見を押しつけてくる人

K 決断力がない人

グループリーダーの使命はなに？

W 部門長と Gr 員との橋渡し、調整、伝達

T Gr 員を導く

M Gr で結果を出すこと Gr 員を教育すること

Y 部下を放置できる状態にする

中略

最後に上司から見た部下の中間管理職でこんな人はいないというのを話したいと思います。中間管理職の使命は上意下達です。上の考えを下へキチンと伝えて納得させるスキルが無いひとは使えません。中でも最悪なのは、部下に上司の悪口を吹き込む中間管理職です。本来負っている使命と真逆なことをする人は、自分のミッションを理解せずに仕事をしている、プロフェッショナルと呼べない人種です。こういう人はいません。もし、直属の上司が自分の意見と異なる方針を打ち出したら、上司と直接相談すべきです。上司の考えが間違っていると確信があるならば、本人に指摘して正しいと思う意見をぶつけてみるべきです。それも中間管理職の使命なので、それをせずに部下に不満を言って自分側の“グループ”を作る行為は給料分仕事をしているとは言えず、むしろ背任行為にあたります。自分がそんなことをすると、そんな状況を見て、そんな環境で育った自分の部下がいずれ全く同じことを自分に対してしてくるようになるでしょう。会社としては、ネガティブな状況がずっと引き継がれていくこととなります。コーポレートカルチャーというものはちょっとやそつとでは変わらないのです。

みなさんの身近なところで家庭を例に考えてみましょう。家長とフォロワーの奥さん、娘 1 人の 3 大家族がいるとします。軽い夫婦喧嘩を引きずって奥さんが娘に旦那の悪口を言います。これまでもずっとそうしてきました。奥さんは女同士で仲間を作りたかったと思います。しかし、娘にすれば母親の話しをすべて真に受けるので、父親を尊敬しない人間に育ちます。そんな家族が幸せになれるでしょうか。家長は家族の幸せのためにバリバリ働く意欲がでるでしょうか。活気のない夫、隙間風の吹く家族関係、それで奥さんは幸せになれるでしょうか。娘が父親の言うことを聞かずに非行に走った時に奥さんが娘の教育に失敗したことを気づいても後の祭りです。あるいは娘の非行も旦那の所為にするのかもしれません。あなたが子育てを手伝ってくれなかったから。どこでボタンを掛け違えたのでしょうか。どうすればよかったのでしょうか。

以前にも話したようにフォロワーの働きはとても大切です。リーダー一人の力では、幸せな家庭や活気のある部署を築けません。フォロワーがリーダーを立てて補佐するのは、リーダーのためというよりも自分の為です。あるいは部下も含めて部署全体のためです。そのことを良く考えて自分のミッションがなんなのかつねに意識して行動してください。

先ほどの例で出てきた非行少女は、のちに結婚して子供を産みます。そして母親と同じ過ちを犯します。そうするよう教育されたようなものです。GLは部門長のフォロワーですが、グループのリーダーでもあります。あなたが部門長をたてない態度をとれば、あなたの部下がフォロワーとして機能しない人になります。もしゆくゆく部門長になりたいと願うならば、正しいフォロワーの仕事を部下に見せて教育しておくべきです。

付け加えると、ボタンの掛け違いは、家長がフォロワーの奥さんを大切に扱わなかったところから始まっているかもしれません。自分と自分のグループにとってどれだけフォロワーが大切なのかということも認識すべきです。

宜しく申し上げます。